

カフェ&バー Canal 運河

- 物件名：カフェ&バーCanal運河
- 住所：稲穂1-4-13
- 電話：23-0110
- 所有者：藤本信一
- 運営者：藤本信一
- 人員：1人
- 建物履歴
 - 明治41年 向井商店(向井呉服店・洋服店)倉庫として創建
 - 大正10年 向井商店社屋に根室銀行小樽支店が移転
 - 大正12年 安田銀行稲穂町出張所と改称
 - 昭和2年 福井県三国出身の藤本由太郎氏 倉庫所有海産物
 - 昭和19年 安田銀行稲穂町出張所閉鎖
 - 昭和30年代 フジヤ家具に藤本氏が賃貸
 - 昭和40年 藤本孝吉氏がインテリア和光を倉庫で開業
 - 昭和50年 旧安田銀行稲穂町出張所をメガネの富士が購入
 - 平成22年 藤本信一氏が「カフェ&バーCanal」を倉庫で開店
 - 平成23年 小樽市歴史的建造物指定

※向井商店

- 明治10年 札幌に古着屋兼質屋を開店
- 明治16年 開運町66番地び向井嘉兵衛創業 呉服太物洋反物類卸商、和洋小間物類和洋煙草質商 印は八△(はちうろこ)
- 明治28年 色内町44に進出 向井便利商会を開業
- 明治32年 色内町向井呉服店横に質店を開業
- 明治33年 色内町支店を閉鎖、開運町の本店呉服店の跡に向井商会開業 内外商品委託販売、商事の仲立及代弁
- 明治35年 八△だった商号を札幌の中△に統一
- 明治41年 稲穂町に新築移転 向井商店(向井呉服店・洋服店)
- 大正9年 小樽での事業を廃止
- 大正10年 根室銀行小樽支店が移転、のちに小型の銀行建築の建物新築
- 大正12年 根室銀行は保善銀行・日本商業銀行などと合併、保善銀行は同時に安田銀行と改称、旧根室銀行小樽支店は安田銀行稲穂町出張所となる『小樽区外七郡案内』『北海道実業人名録』。



外観

■外観

ほぼ創建当時のまま使用

■内観

度重なる再利用により1階部分は飲食店仕様のため全面改装

■内容

小樽の繁華街の中心に位置し、歴史ある建物ということから、有効活用するために、退職後のライフワークとして飲食店を開業。1階にのみ柱があるが2~4階には梁だけで維持されている。

■客層

観光客6割、うち外国人2割



入口



4層の煉瓦蔵



シンプルな店内